



なかしん

# 中小企業景況レポート

## No.12 中栄信用金庫 地域支援部

平成26年7月～9月実績と平成26年10月～12月見込み

### ◆調査概要

調査時期 平成26年9月上旬  
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町  
 調査企業数 333社  
 回答企業数 326社

#### 【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	93	89	95.6
卸売業	23	23	100.0
小売・飲食業	68	66	97.0
サービス業	49	49	100.0
建設業	59	58	98.3
不動産業	41	41	100.0
合計	333	326	97.8

### ◆7月～9月期の概況

#### ～建設業関連の業況回復押し上げにより、小幅改善となる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断D.I.は▲11.3を示し、前回調査(平成26年4月～6月期)に比べ1.9ポイントの改善となりました。消費税率引き上げから半年が経過し、依然として消費者の節約志向が続いていることに加え、円安による原材料の値上げ、人手不足や最低賃金引き上げに伴う人件費などのコスト負担が増す中、今回調査においては、公共事業等の受注増加に伴う建設業関連の業況回復が、売上・収益D.I.の改善に寄与し、景況感の小幅改善に至ったものと思われれます。また一部企業においては、消費増税や原材料価格上昇分の販売価格への転嫁を徐々に進める動きとともに、機械設備の導入や工場移転を検討する動きがみられるものの、依然として売上減少・停滞を課題としている企業も多く、2度目の消費増税判断を前に、先行きへの不透明さもあることから、景気回復に弱さが残ります。

項目別にみると、売上実績D.I.は前回調査比2.2ポイント改善の▲4.3、収益実績D.I.は前回調査比2.8ポイント改善の▲11.1となっております。また、仕入価格D.I.は10.2ポイント上昇感が弱まり36.7、資金繰りは3.5ポイント悪化の▲16.5、人手過不足については、4.6ポイント不足感が強まり▲24.3となっております。

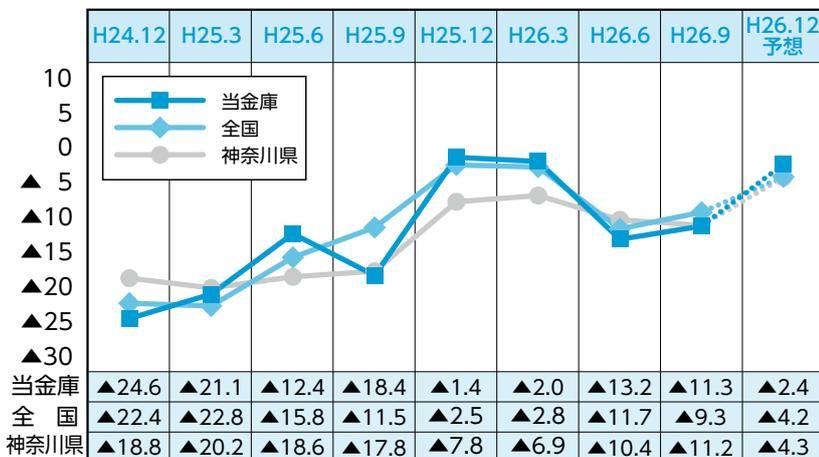
また、業種別の景況感は、卸売業が21.8ポイント改善の0.0、建設業が15.6ポイント改善の19.0、製造業が2.2ポイント悪化の▲4.4、小売・飲食業が2.7ポイント悪化の▲40.0、サービス業が3.8ポイント悪化の▲16.3、不動産業が6.9ポイント悪化の▲24.4となっております。(業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。)

なお、全国の中小企業業況判断D.I.は、前回調査から2.4ポイント改善の▲9.3、神奈川県内は、0.8ポイント悪化の▲11.2となっております。(全国と神奈川県のD.I.値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。)

### ◆10月～12月期の見通し

来期の業況判断予想は8.9ポイント改善の▲2.4、売上額D.I.は15.6ポイント改善の11.3、収益D.I.は16.6ポイント改善の5.5の予想となり、業種別では、卸売業以外の5業種で改善の見込みとなっております。

#### 業況判断D.I.値(全業種)



全国、神奈川県の業況判断D.I.値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000(うち神奈川県約480)の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I.値とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

#### 業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調  
 良い ← → 悪い

# 製造業

## 概況

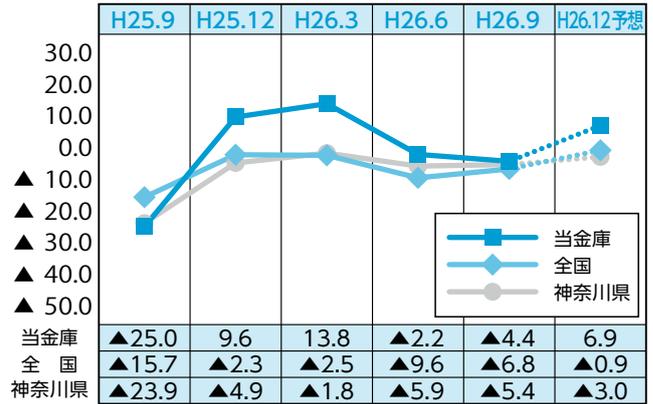
製造業の業況判断D.I.は前回調査比2.2ポイント悪化の▲4.4となりました。

項目別では、売上額D.I.は7.9ポイント改善の2.3、収益D.I.は2.3ポイント改善の▲10.1となっております。円安を背景に輸出関連企業を中心とした受注増加に伴い、売上・収益は回復傾向ではありますが、原材料価格や電力料金、人材確保のための賃上げなどのコスト増に伴う影響により、景況感は小幅悪化に至ったものと思われます。また、一部企業においては受注増加による設備導入を検討する声も見受けられることに加え、工場の老朽化に伴う工場移転を検討する動きもみられます。

なお、全国は2.8ポイント改善の▲6.8となっており、神奈川県は0.5ポイント改善の▲5.4となっております。

来期の予想業況判断については、11.3ポイント改善の6.9となっております。

## 業況判断D.I.値



### 売上額

	前期実績	24.4	45.6	30.0	D.I.
前期実績	24.4	45.6	30.0	▲5.6	
当期実績	29.2	43.9	26.9	2.3	
来期予想	38.2	43.9	17.9	20.3	
前年同期比	35.9	36.1	28.0	7.9	

### 販売価格

	前期実績	6.7	84.4	8.9	D.I.
前期実績	6.7	84.4	8.9	▲2.2	
当期実績	10.1	82.1	7.8	2.3	
来期予想	5.6	90.0	4.4	1.2	

### 在庫

	前期実績	7.8	90.0	2.2	D.I.
前期実績	7.8	90.0	2.2	5.6	
当期実績	5.6	91.0	3.4	2.2	
来期予想	4.5	93.3	2.2	2.3	

### 人手

	前期実績	11.2	63.0	25.8	D.I.
前期実績	11.2	63.0	25.8	▲14.6	
当期実績	12.3	59.7	28.0	▲15.7	
来期予想	5.6	73.1	21.3	▲15.7	

### 収益

	前期実績	16.8	54.0	29.2	D.I.
前期実績	16.8	54.0	29.2	▲12.4	
当期実績	21.3	47.3	31.4	▲10.1	
来期予想	31.4	51.8	16.8	14.6	
前年同期比	31.4	37.2	31.4	0.0	

### 原材料価格

	前期実績	39.7	60.3		D.I.
前期実績	39.7	60.3		39.7	
当期実績	38.6	58.0	3.4	35.2	
来期予想	26.1	71.7	2.2	23.9	

### 資金繰り

	前期実績	11.2	70.9	17.9	D.I.
前期実績	11.2	70.9	17.9	▲6.7	
当期実績	15.7	63.0	21.3	▲5.6	
来期予想	13.4	60.8	25.8	▲12.4	

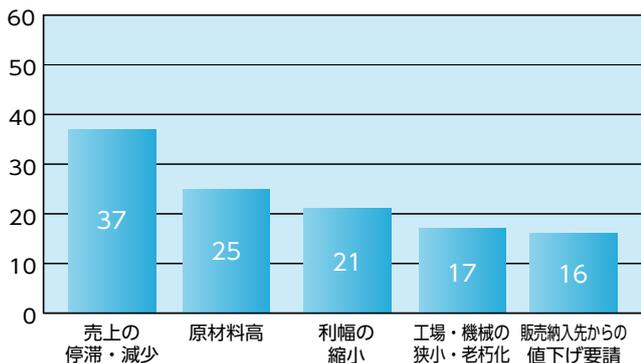
### 設備状況

	前期実績	7.9	79.6	12.5	D.I.
前期実績	7.9	79.6	12.5	▲4.6	
当期実績	6.8	79.5	13.7	▲6.9	
来期予想	6.8	77.2	16.0	▲9.2	

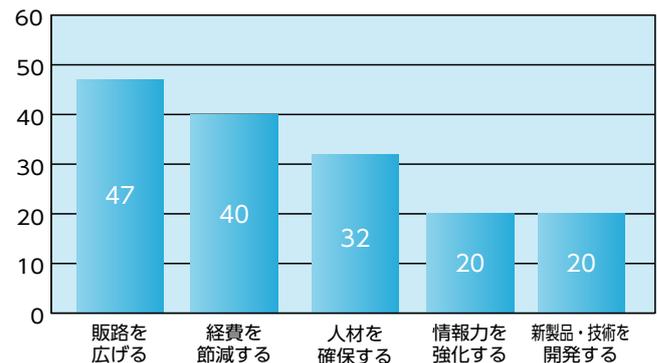
当期実績…26年 7～ 9月期  
来期予想…26年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 卸売業

## 概況

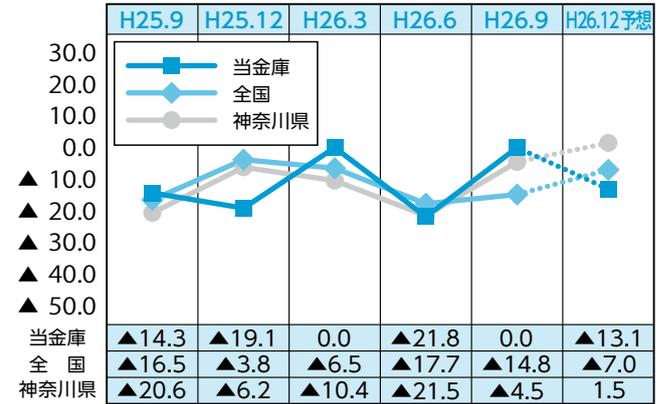
卸売業の業況判断D.I.は前回調査比21.8ポイント改善の0.0となりました。

項目別では、売上額D.I.は前回から横這いの0.0、収益D.I.は8.7ポイント改善の0.0となっております。建設業における受注増加に伴い、建築材料卸売業を中心に業況改善となる中、下記の重点経営施策のとおり、人手不足による人材の確保を今後の課題とする企業が増加しております。また、一部の機械器具卸売業においては、仕入価格上昇への懸念から、一括仕入れを検討する企業が見受けられます。

なお、全国は2.9ポイント改善の▲14.8となっており、神奈川県は17.0ポイント改善の▲4.5となっております。

来期の予想業況判断については、13.1ポイント悪化の▲13.1となっております。

## 業況判断D.I.値



### 売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	21.7	56.6	21.7		0.0
当期実績	30.4	39.2	30.4		0.0
来期予想	34.7	56.7	8.6		26.1
前年同期比	47.8	34.9	17.3		30.5

### 販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	21.7	74.0	4.3	17.4
当期実績	13.0	78.4	8.6	4.4
来期予想	17.3	74.1	8.6	8.7

### 在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	21.7	69.7	8.6	13.1
当期実績	13.0	82.7	4.3	8.7
来期予想	8.6	87.1	4.3	4.3

### 人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	17.3	61.0	21.7	▲4.4
当期実績	4.3	78.4	17.3	▲13.0
来期予想	4.3	74.0	21.7	▲17.4

### 収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	17.3	56.7	26.0		▲8.7
当期実績	30.4	39.2	30.4		0.0
来期予想	30.4	56.6	13.0		17.4
前年同期比	30.4	52.3	17.3		13.1

### 仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	56.5	43.5		56.5
当期実績	21.7	69.7	8.6	13.1
来期予想	13.0	87.0		13.0

### 資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	17.3	61.0	21.7	▲4.4
当期実績	13.0	65.3	21.7	▲8.7
来期予想	8.6	61.0	30.4	▲21.8

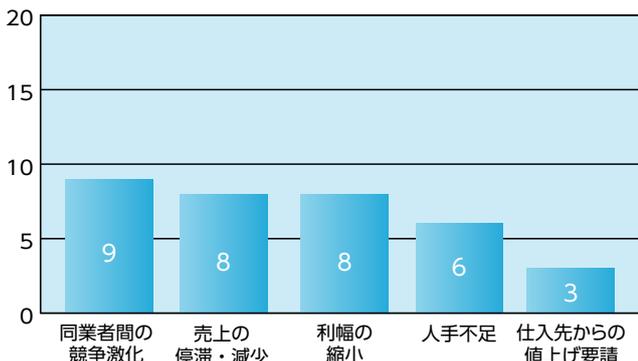
### 設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	4.3	78.4	17.3	▲13.0
当期実績	4.3	87.1	8.6	▲4.3
来期予想	4.3	87.1	8.6	▲4.3

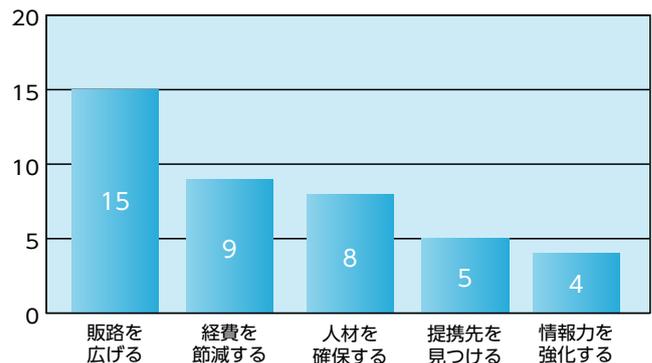
当期実績…26年 7～ 9月期  
来期予想…26年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 小売・飲食業

## 概況

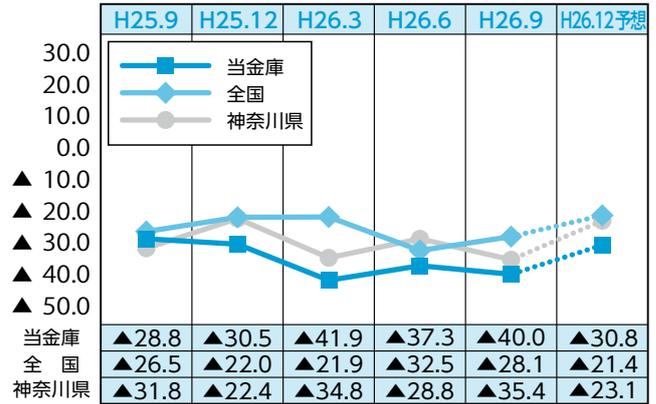
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査から 2.7 ポイント悪化の▲40.0 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 8.6 ポイント改善の▲21.2、収益 D.I. は 7.0 ポイント改善の▲28.8 となっております。季節的要因により一部企業においては売上増加が見受けられますが、売上停滞・減少を課題としている企業についても未だ半数以上あります。依然として節約志向が続いており、仕入価格高騰や人材確保のための賃上げ負担が景況感の回復を抑えています。また、他社との差別化を図ることを課題としている企業が見受けられ、販売促進策を検討している動きもみられます。

なお、全国は 4.4 ポイント改善の▲28.1 となっており、神奈川県は 6.6 ポイント悪化の▲35.4 となっております。

来期の予想業況判断は 9.2 ポイント改善の▲30.8 と予想されております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	17.9	34.4	47.7	▲29.8	
当期実績	24.2	30.4	45.4	▲21.2	
来期予想	34.8	30.4	34.8	0.0	
前年同期比	28.7	32.0	39.3	▲10.6	

### 販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	34.3	58.3	7.4	26.9
当期実績	16.6	77.4	6.0	10.6
来期予想	13.6	81.9	4.5	9.1

### 在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	20.8	70.3	8.9	11.9
当期実績	19.6	74.4	6.0	13.6
来期予想	-10.6	86.4	3.0	7.6

### 人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-7.4	64.3	28.3	▲20.9
当期実績	-6.0	59.2	34.8	▲28.8
来期予想	-7.5	56.2	36.3	▲28.8

### 収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	13.4	37.4	49.2	▲35.8	
当期実績	18.1	35.0	46.9	▲28.8	
来期予想	30.3	34.9	34.8	▲4.5	
前年同期比	16.6	41.0	42.4	▲25.8	

### 仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	50.0	47.0	3.0	47.0
当期実績	50.0	50.0		50.0
来期予想	37.8	60.7	1.5	36.3

### 資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-7.5	62.2	30.3	▲22.8
当期実績	-6.0	56.2	37.8	▲31.8
来期予想	-6.0	56.2	37.8	▲31.8

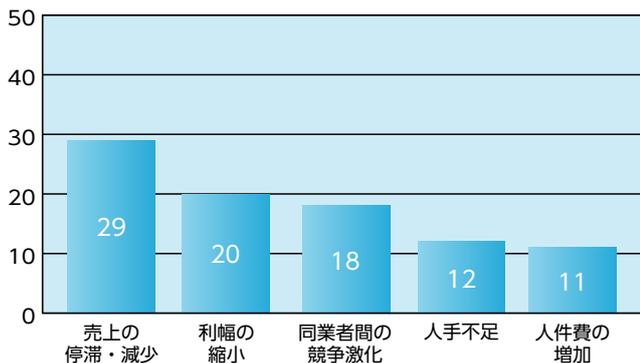
### 設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	-4.6	77.0	18.4	▲13.8
当期実績	-4.5	78.9	16.6	▲12.1
来期予想	-1.5	80.4	18.1	▲16.6

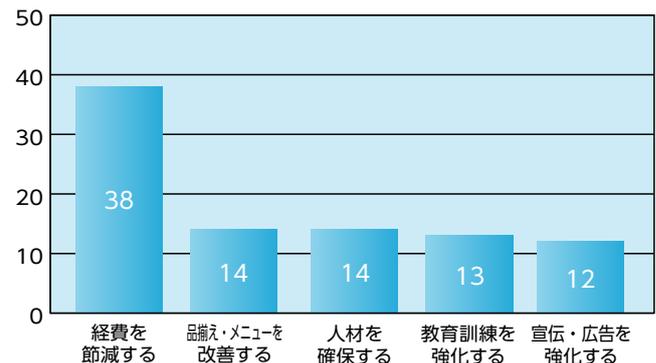
当期実績…26年 7～ 9月期  
来期予想…26年 10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# サービス業

## 概況

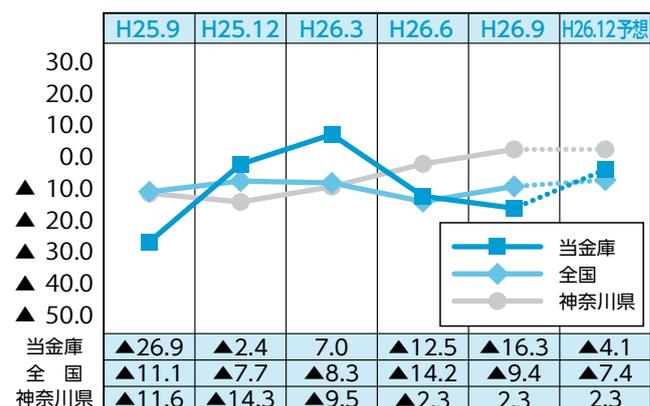
サービス業の業況判断D.I.は前回調査比3.8ポイント悪化の▲16.3となりました。

項目別では、売上額D.I.は前回調査比16.5ポイント悪化の▲2.0、収益D.I.は8.1ポイント悪化の▲6.1となっております。今回調査においては、光熱費や人件費などのコスト増加による収益圧迫や価格競争ならびに季節要因等の売上減少により、業況は依然として厳しいものとなっております。また、一部の企業においては設備投資を検討している企業や内装の補修工事を行い、売上増加に寄与している企業もあります。

なお、全国は4.8ポイント改善の▲9.4となっており、神奈川県は4.6ポイント改善の2.3となっております。

来期の予想業況判断は12.2ポイント改善の▲4.1と予想されております。

## 業況判断D.I.値



### 売上額

	前期実績			D.I.
前期実績	39.5	35.5	25.0	14.5
当期実績	30.6	36.8	32.6	▲2.0
来期予想	36.7	32.7	30.6	6.1
前年同期比	32.6	26.6	40.8	▲8.2

### 料金価格

	前期実績			D.I.
前期実績	31.2	60.5	8.3	22.9
当期実績	8.1	81.7	10.2	▲2.1
来期予想	12.2	79.7	8.1	4.1

### 資金繰り

	前期実績			D.I.
前期実績	-10.4	54.2	35.4	▲25.0
当期実績	-6.1	57.2	36.7	▲30.6
来期予想	-6.1	59.3	34.6	▲28.5

### 設備状況

	前期実績		D.I.
前期実績	77.1	22.9	▲22.9
当期実績	73.5	26.5	▲26.5
来期予想	75.6	24.4	▲24.4

### 収益

	前期実績			D.I.
前期実績	27.0	48.0	25.0	2.0
当期実績	28.5	36.9	34.6	▲6.1
来期予想	36.7	36.8	26.5	10.2
前年同期比	24.4	24.6	51.0	▲26.6

### 材料価格

	前期実績			D.I.
前期実績	54.1	43.9	2.0	52.1
当期実績	44.6	51.2	4.2	40.4
来期予想	36.1	61.8	2.1	34.0

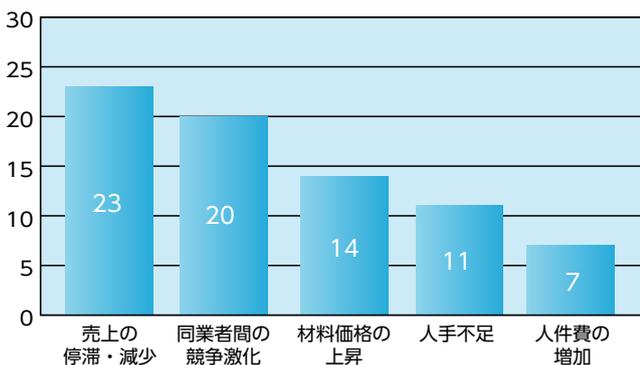
### 人手

	前期実績			D.I.
前期実績	12.5	48.0	39.5	▲27.0
当期実績	-8.1	51.1	40.8	▲32.7
来期予想	-4.0	55.2	40.8	▲36.8

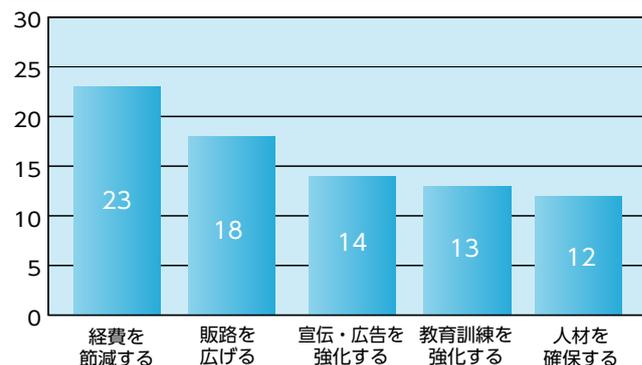
当期実績…26年7～9月期  
来期予想…26年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 建設業

## 概況

建設業の業況判断D.I.は前回調査比15.6ポイント改善の19.0となりました。

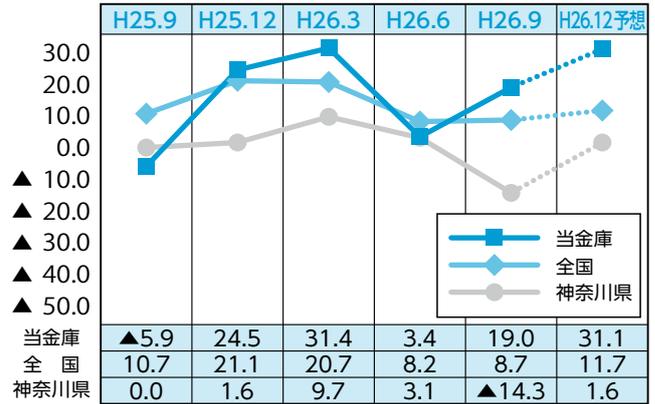
項目別では、売上額D.I.は前回調査比から12.0ポイント改善の13.8、収益D.I.は15.6ポイント改善の8.6となっております。

今回調査において、公共工事の受注増加や消費税増税を想定して、徐々に一般住宅の受注が増加しております。その影響から人材の確保を課題とする企業が増えてきており、建設需要の回復に人材が追いついていないのが現状であります。また、請負価格D.I.は8.9ポイント上昇の1.8となり、材料価格の高騰に対する価格転嫁が行われてきていることが、収益環境の改善に繋がっております。

なお、全国は0.5ポイント改善の8.7となっており、神奈川県は17.4ポイント悪化の▲14.3となっております。

来期の予想業況判断は12.1ポイント改善の31.1と予想されております。

## 業況判断D.I.値



### 売上額

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	33.3	35.2	31.5	1.8
当期実績	36.2	41.4	22.4	13.8
来期予想	34.4	48.4	17.2	17.2
前年同期比	41.3	32.9	25.8	15.5

### 請負価格

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	15.7	61.5	22.8	▲7.1
当期実績	17.5	66.8	15.7	1.8
来期予想	10.5	79.0	10.5	0.0

### 在庫

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	10.7	87.6	1.7	9.0
当期実績	3.4	96.6		3.4
来期予想	5.1	93.2	1.7	3.4

### 人手

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	1.7	72.5	25.8	▲24.1
当期実績	1.7	62.1	36.2	▲34.5
来期予想	1.7	63.9	34.4	▲32.7

### 収益

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	24.5	44.0	31.5	▲7.0
当期実績	27.5	53.6	18.9	8.6
来期予想	24.1	57.0	18.9	5.2
前年同期比	38.5	37.0	24.5	14.0

### 材料価格

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	73.6	26.4		73.6
当期実績	64.9	33.4	1.7	63.2
来期予想	45.6	52.7	1.7	43.9

### 資金繰り

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	12.2	66.8	21.0	▲8.8
当期実績	15.5	63.9	20.6	▲5.1
来期予想	13.7	69.1	17.2	▲3.5

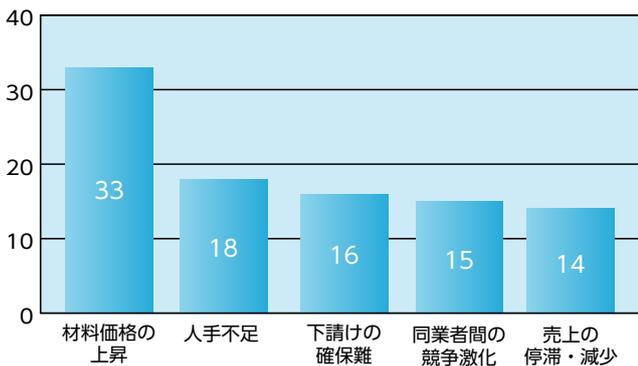
### 設備状況

	前期実績	当期中	当期末	D.I.
前期実績	3.5	89.4	7.1	▲3.6
当期実績		98.3	1.7	▲1.7
来期予想	1.7	96.6	1.7	0.0

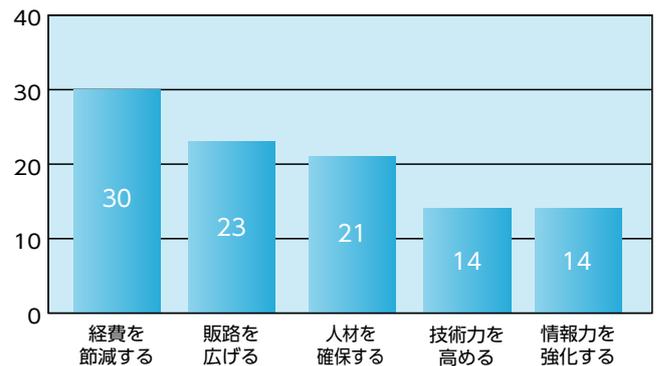
当期実績…26年 7～ 9月期  
来期予想…26年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



# 不動産業

## 概況

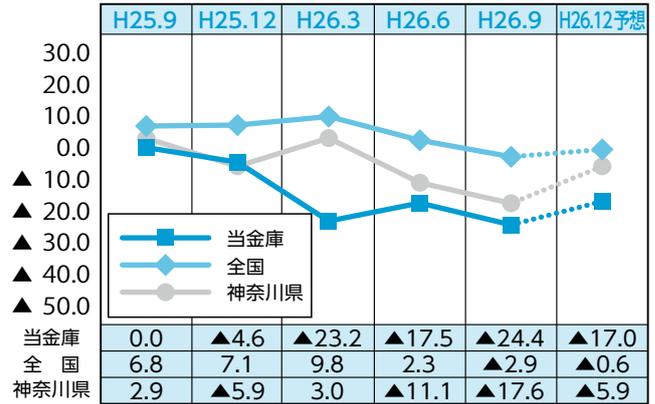
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 6.9 ポイント悪化の▲24.4 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 12.0 ポイント悪化の▲22.0、収益 D.I. は 11.9 ポイント悪化の▲24.4、資金繰りは 12.0 ポイント悪化の▲19.5 となっております。秦野・伊勢原地区を中心に、良質な物件の仕入が難しいことから、売上に影響がでている企業も見受けられ、一部の企業においては、中古物件に注力する動きがみられます。また、商品物件の不足から、今後も情報力を強化するとともに、2 度目の消費税増税に注視しながら、採算性を踏まえた商品仕入が課題となっております。

なお、全国は 5.2 ポイント悪化の▲2.9 となっており、神奈川県は 6.5 ポイント悪化の▲17.6 となっております。

来期の予想業況判断は、7.4 ポイント改善の▲17.0 と予想されております。

## 業況判断 D.I. 値



### 売上額

	前期実績	20.0	50.0	30.0	D.I. ▲10.0
当期実績	17.0	44.0	39.0	▲22.0	
来期予想	26.8	46.4	26.8	0.0	
前年同期比	19.5	48.8	31.7	▲12.2	

### 販売価格

	前期実績	5.0	67.5	27.5	D.I. ▲22.5
当期実績	2.4	68.4	29.2	▲26.8	
来期予想	2.4	68.4	29.2	▲26.8	

### 在庫

	前期実績	10.2	33.4	56.4	D.I. ▲46.2
当期実績	17.0	48.9	34.1	▲17.1	
来期予想	12.1	58.7	29.2	▲17.1	

### 人手

	前期実績	5.0	67.5	27.5	D.I. ▲22.5
当期実績	7.5	67.5	25.0	▲17.5	
来期予想	7.5	70.0	22.5	▲15.0	

### 収益

	前期実績	20.0	47.5	32.5	D.I. ▲12.5
当期実績	14.6	46.4	39.0	▲24.4	
来期予想	19.5	51.3	29.2	▲9.7	
前年同期比	19.5	46.4	34.1	▲14.6	

### 仕入価格

	前期実績	25.0	62.5	12.5	D.I. 12.5
当期実績	9.7	70.8	19.5	▲9.8	
来期予想	12.1	70.9	17.0	▲4.9	

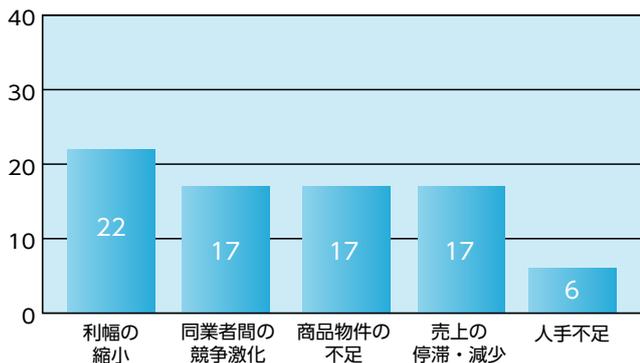
### 資金繰り

	前期実績	15.0	62.5	22.5	D.I. ▲7.5
当期実績	2.4	75.7	21.9	▲19.5	
来期予想	4.8	75.7	19.5	▲14.7	

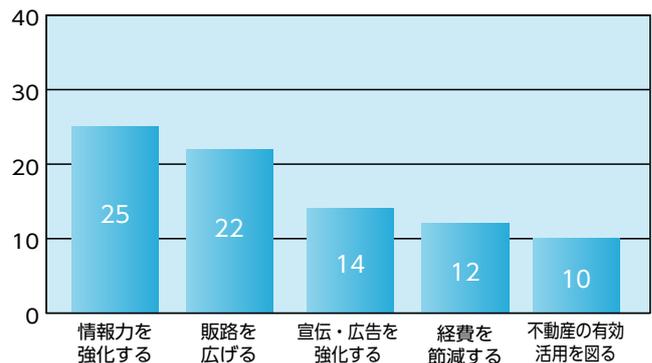
当期実績…26年 7～ 9月期  
来期予想…26年 10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

## 経営上の問題点 (複数回答)



## 当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 333 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 本年6月に政府が打ち出した新たな『成長戦略』では、いわゆるアベノミクス効果について「日本経済はあらゆる面で上昇局面に向かっている」としています。貴社では、アベノミクス効果をどのように捉えていますか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの実感</li> <li>1. 大いに実感している ..... 6社</li> <li>2. やや実感している ..... 27社</li> <li>3. どちらともいえない ..... 111社</li> <li>4. あまり実感していない ..... 118社</li> <li>5. まったく実感していない ..... 88社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の期待感</li> <li>6. 大いに期待している ..... 19社</li> <li>7. やや期待している ..... 70社</li> <li>8. どちらともいえない ..... 84社</li> <li>9. あまり期待していない ..... 95社</li> <li>0. まったく期待していない ..... 33社</li> </ul>
--	--

問2. 政府が掲げる『成長戦略』では、「法人税率の軽減」と、「代替財源として課税範囲の拡大・見直し」が提唱されています。貴社では法人税制改正案についてどのように捉えていますか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 歓迎している ..... 37社</li> <li>2. やや歓迎している ..... 59社</li> <li>3. やや心配している ..... 34社</li> <li>4. 心配している ..... 24社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. どちらでもない ..... 117社</li> <li>6. 当社には関係がない ..... 13社</li> <li>7. わからない ..... 41社</li> </ul>
--	---

問3. 政府はこれまで、『成長戦略』の中で企業の設備投資を促しています。こうしたなか、貴社では、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>1位 顧客・取引先からの受注増加 ..... 70社</li> <li>2位 先行き不透明感の払拭 ..... 69社</li> <li>3位 そもそも積極的な設備投資を行うつもりはない ..... 66社</li> <li>4位 設備の陳腐化・老朽化 ..... 42社</li> <li>5位 設備投資税制優遇や助成金等の拡充 ..... 30社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6位 金融機関の貸出態度緩和 ..... 13社</li> <li>7位 すでに積極化している ..... 10社</li> <li>8位 機械化投資の必要性増大 ..... 7社</li> <li>9位 その他 ..... 4社</li> <li>10位 業種転換 ..... 1社</li> </ul>
---	--

問4. 一部の地域や業種を中心に人手不足が深刻化していますが、貴社における人材の現況はどうなっていますか。人手不足の方は、人手不足にどう対応しているかについて最も当てはまるものをお答えください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>人手は適正 ..... 184社</li> <li>(人手不足への対応)</li> <li>1. 給与・賞与の引上げ ..... 15社</li> <li>2. 正社員の採用基準緩和 ..... 15社</li> <li>3. 非正規社員の採用拡大 ..... 20社</li> <li>4. 女性・高齢者の活躍 ..... 15社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人手は過剰 ..... 16社</li> <li>5. 機械化の推進 ..... 3社</li> <li>6. 下請け等へのアウトソーシング ..... 25社</li> <li>7. 仕事量の調整(受注絞込み等) ..... 14社</li> <li>8. 対応不能(従業員の努力等) ..... 14社</li> </ul>
--	---

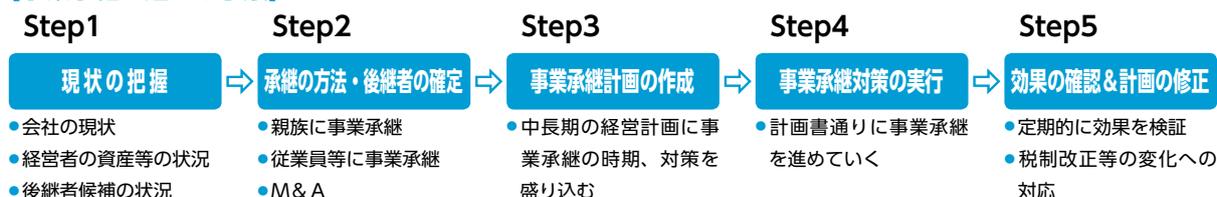
問5. 政府の『成長戦略』では、訪日外国人の増加や外国人技能実習制度の見直しなど、外国人との関わりを増やすような政策が提唱されています。貴社では、外国人との関わり増加にどのような期待感を持っていますか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>1位 特に期待していない ..... 195社</li> <li>2位 現場の労働力 ..... 49社</li> <li>3位 国内での顧客層の拡大(売上増大) ..... 27社</li> <li>4位 地元経済の活性化 ..... 16社</li> <li>5位 文化交流の促進 ..... 9社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6位 その他 ..... 8社</li> <li>7位 職場の活性化・グローバル化 ..... 7社</li> <li>8位 会社中枢を担う人材の確保 ..... 5社</li> <li>9位 海外拠点展開の担い手 ..... 4社</li> <li>10位 新たな技術・ノウハウの獲得 ..... 3社</li> </ul>
---	--

経営のポイント! 『事業承継について①』

平成25年度税制改正により、事業承継税制の一部が改正され、平成27年1月から施行されます。経営者の高齢化が進む中、円滑な承継には期間を要することから、今号と次号については事業承継手順についてご紹介します。

【事業承継を進める手順】



後継者が決まっても対策が十分でないと、いざ事業承継という時に

①相続トラブル②取引先・従業員との関係③相続税の負担④自社株・事業用資産取得に必要な資金の不足等、様々な問題が発生することもありますので、早期からの取組みが必要となります。

(次号につづく)